

# 赤潮情報第33号 (有明海：シャットネラ属 警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

## 有明海でシャットネラ属が確認されています。

本日、熊本県が有明海を調査したところ、シャットネラ属が横島地先で海水1mL当たり最高65細胞が確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

本種は極めて有害で、海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死することがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、餌止め等の対策を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意してください。

また、ディクチオカ フィブラが熊本港地先で海水1mL当たり1000細胞が確認されました。本県では本種による漁業被害の報告はありませんが、他県では魚類をへい死させた事例が報告されています。引き続き本種の動向にも注意してください。

【参考】隣県における本種の注意報基準(海水1mL当たり40細胞)、警報基準(400細胞)

### 海水1mL当たりのシャットネラ属の細胞数

水深 0m, 5m

荒尾地先 0, 23

長洲地先 10, 2

長洲沖 59, 25

菊池川河口 16, 14

長崎県島原市沖 4, 27

長崎県水無川沖 4, 9 (2m), 19

早崎瀬戸 0, 1

御領地先 0, 3

有明町大浦地先 0, 2

横島沖 36, 19

横島地先 65, 5

海水1mL当たりの  
ディクチオカ フィブラの細胞数

水深 0m, 2m, 5m

熊本港地先 160, 1000, 42

熊本港地先 38, 63 (2m), 36

熊本港沖 6, 54

赤瀬地先 17, 7

赤瀬沖 20, 42

湯島北東 4, 44 (3m), 8

湯島南 1, 0



赤潮情報 ホームページ



シャットネラ属アplanon

警報 : 10細胞/mL以上

注意報 : 5細胞/mL以上

※図中の数字は、調査水深別の海水1mL当たりの細胞数です。

※×印：全ての採水層でシャットネラ属が0細胞(採水層：0m、5m)